

【運転時認知障害早期発見チェックリスト】



車の運転時に現れやすい、軽度認知障害や認知症の早期発見のきっかけとなる状態をまとめたものです。運転に不安を感じたときの自己診断ツールとして、専門機関の受診を検討する場合などにお役立てください。安全運転の目安としても活用しましょう。



警視庁ホームページ

【運転経歴証明書】



運転免許センターや警察署等で、運転免許証を返納すると「運転経歴証明書」の交付が受けられます。自動車などの運転に関する経歴について表示するもので、本人確認書類として使用することができます。

交付を受けることができる方

- 自主返納した日から5年以内の方
- 運転免許を失効した日から5年以内の方

【運転免許返納後の特典】



札幌連携中枢都市圏の市町村にお住まいの65才以上の方が、協力店を利用する際に運転経歴証明書を提示することで、配送料の割引や商品・サービスの無料提供など各種特典が受けられます。



札幌市ホームページ

特典の詳細はQRコード「運転免許証の自主返納支援」のページからサポート制度をご確認ください。

運転に不安を感じたら、家族が不安を感じたら…まずはご相談ください。

【札幌市北区の相談先】

◆ 安全運転相談ダイヤル #8080

- ◆ 北区第1地域包括支援センター ☎011-700-2939
- ◆ 北区第2地域包括支援センター ☎011-736-4165
- ◆ 北区第3地域包括支援センター ☎011-214-1422

- ▶ 札幌方面北警察署 ☎011-727-0110
- ▶ 北区役所 保健福祉課保健支援係 ☎011-757-2465



その運転

大丈夫?



高齢者の運転免許返納の支援について

- アクセルとブレーキを間違えることがある
- 家族の説得だけでは免許返納は無理?
- 免許返納を望んでいるけど、本人にその意思がない
- 反対車線を走ってしまった
- 認知症を発症しても運転はできる?
- 免許返納で得られる特典は?



心身の能力低下がみられる高齢者が、自動車の運転をやめたり、運転免許を返納をするまでには、対応に苦慮するケースが多くみられます。

高齢者本人や、家族・支援者などの周囲の立場も理解しながら、認知症への対応も含め、安全確保に向けた4つのステップで支援を考えていきましょう。

札幌市北区保健福祉課
札幌市 北区第1・第2・第3地域包括支援センター
札幌方面北警察署

①本人または家族や周囲の気づき

心配になることはありませんか？

安全に運転できているか、交通事故を起こしたりしないか、心配になることはありませんか。運転を継続するかどうかそろそろ考える時期かもしれません。反対車線を走ってしまったり、運転している途中で行き先を忘れてしまうなど、運転時の認知障害を早期に発見する必要があります。



Point

ポイント

事故の実態



平成31年に東池袋で発生した、暴走事故は社会的反響も大きく大変痛ましいものですが、これに限らず交通事故はどれも悲惨です。

令和3年度、道内の交通死亡事故は120件発生しており、そのうち41件（34.2%）が高齢者ドライバーによるものです。

❑ 免許返納が本当に必要なのか？

運転時の失敗が重大事故につながることを十分に理解していても、運転する本人は危険性や運転技術の低下に気づいていない恐れがあります。高齢者による事故の実態を把握することで気づくこともありますので、本人や周囲の方が「あれ？」と思ったときに免許返納について話し合うことが大切です。

実際にあった返納への解決策

④更新？それとも返納へ…

どのように解決したのか？ ※運転免許返納に関するアンケート結果より

- 本人が尊敬している医師から、優しくハッキリ伝えてもらった。
- 運転をやめると困ることについて(例：仕事ができなくなる)、家族が代わって行ったり問題を少しずつ解消していき、安心してもらった。
- 買い物や病院受診は家族が協力して送迎し、付添った。
- 可愛がっている孫から…「心配だから運転をやめてほしい」と頼んだ。
- 買い物は配達にしたり、運動や老人クラブに代えて、送迎付き介護保険サービスの利用を開始した。 など…



❑ 運転免許取り消し・医師の診断書が必要な場合についての疑問

医師の診断書が必要となるのはどのような場合か？

75歳以上のドライバーは、免許証の更新時に認知機能検査が必要です。検査の結果、記憶力・判断力が低くなっていると判断された場合は、専門医や主治医の診断書を提出することになります。

※回答協力：札幌方面北警察署

本人が免許返納を拒否したケースで、国から命令等で免許取り消しを行うことができるのか？

免許返納は本人の意思に基づいて行う手続きなので、命令などで強制的に返納させることはできません。実務的には家族などから安全運転相談を受けうえて医師からの診断書提出を求め、政令で定める基準に従い取消処分を行うこととなります。

②免許返納までの葛藤

実際にあった返納の葛藤

返納する本人の悩み

- 買い物など、どこにも行けない。
- 仕事をしているので移動に困る。
- 家族に負担をかけたくない。
- 周りが返納と騒ぎ、苛立った。

家族の悩み

- 怒って話にならない。
- 事故が心配。
- 返納に関わるのも憂鬱になった。

※運転免許返納に関するアンケート結果 70～90歳代の本人とその家族の声です。



❑ 認知症なのでは？

「急に怒り出したり、道に迷ったりすることが、車の運転となると事故を起こさないか」と家族は心配になります。

ひょっとして認知症なのでは？と疑う場面があるかもしれませんが、正しい知識で判断しないと、怒りだすなど逆効果になる恐れがありますので、相談できる窓口へ行くのが解決の第一歩となります。

Point

ポイント

一人では悩まない



免許返納を素直に受け入れるのはなかなか難しいのが現状です。運転を続けることに不安がある方は、運転に関する相談窓口やお住まいの地区の地域包括支援センターに相談することをお勧めします。※裏表紙の【北区の相談先】をご確認ください。

③

③ 正確な診断・病気の理解

大切な早期診断・早期治療

認知症の原因となる病気の中には早期に治療すれば治るものもあります。治らない病気と決めつけず、専門医や主治医の診断を受けることが大切です。

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気であり、高齢になるほど認知症になる可能性は高くなりますので、早期の診断・治療が求められます。



Point

ポイント

物忘れと認知症の違い

【普通のもの忘れ】

食べた食事のメニューや約束の日時を思い出せない。(正常な老化現象)

【認知症が疑われるもの忘れ】

食事したことや約束したこと、それ自体を忘れてしまう。

❑ 認知症を発症しても運転はできる？

認知症であることが判明したとき、政令で定める基準に従い、その者の免許を取り消し、又は六月を超えない範囲内で期間を定めて免許の効力が停止されます。

運転できません

※道路交通法第103条1項

